

岡崎市議会議長 様

支出番号	17
------	----

会派名 自民清風会
代表者名 加藤 義幸



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

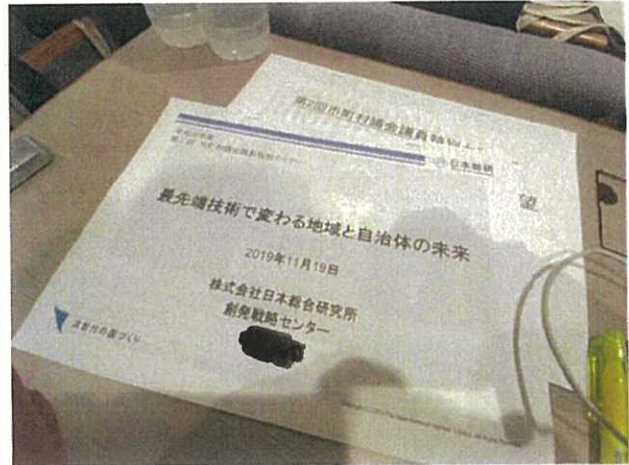
令和2年 1月 8日提出

活動年月日	令和元年 11月 18日 (月) ~ 11月 19日 (火)	
氏名	野本 篤	
用務先 及び 内容	1	用務先 滋賀県 大津市
	11月18日	内 容 令和元年度 第2回市町村議会議員特別セミナー
	2	用務先 滋賀県 大津市
	11月19日	内 容 令和元年度 第2回市町村議会議員特別セミナー
	3	用務先
		内 容
	4	用務先
		内 容
備考		



政務活動旅行報告書

報告者：野本 篤



【研修概要】

日 程：令和元年11月18日（月）～19日（火）2日間コース

場 所：滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所（JIAM）

研修名：令和元年度 第2回 市町村議会議員特別セミナー

ねらい：日々目まぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議員は様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められる。今回のセミナーは「地方行財政」をテーマに各分野で活躍する先生方からの講演を拝聴し、今後のわがまちの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていく。

【研修日程】

1日目 講義① 13:15～14:45

講師名：総務省地方財政審議会委員 [REDACTED] 氏

講義名：地方行財政の現状と課題

講義② 15:05～16:35

講師名：元読売新聞社東京本社編集委員 [REDACTED] 氏

講義名：自治・分権の志はどこへいったのか

2日目 講義③ 9:00～10:30

講師名：株式会社日本総研専務執行役員 [REDACTED] 氏

講義名：最先端技術で変わる地域と自治体の未来

講義④ 10:50～12:20

講師名：株式会社野村総研顧問 [REDACTED] 氏

講義名：2040年に向けた自治体の課題と展望

【考 察】

地方における財政の傾向として、今後は社会保障の充実へ移行せざるを得ない。

本市においては不交付団体であり国からの地方交付税をあまり期待するところではない。しかし、現状が良いからと言って安心してはいけぬ。

国の動向に伴い、新たに幼児教育の無償化に係る地方負担分の財源の確保が必要となることや、自然災害防止対策の推進にも力を入れていくことになる。

地方は、負担分を確保していくためにも独自に財源を確保していく施策を打っていくことが財政の健全化および維持に繋がると考える。

また、最先端技術を行政事務および事業に積極的にとり入れることにより、将来的なコストカットや管理機能の向上も期待される。地域においても大きな変化が期待されるが、その導入には強い政治的イニシアティブが必要と考える。

2040年の人口構成による高齢者福祉の支え手不足は明らかである。バックキャストによる10年、20年後のあるべき姿と想像し、目標を設定して取り組みを進めていかななくてはならない。世界も同じ状況ではあるが、日本が最速であり、世界中から日本の動向を注視している。

高齢者福祉や児童福祉および障がい福祉を基礎自治体単位で、しっかりと計画していくことが必要である。

以上